

大甕小学校通信

令和4年6月23日（木） 文責：校長 佐藤 伸洋



学校経営・運営ビジョン ※「学校要覧」参照 学校教育重点目標「共に学び 認め合う」

令和4年度、これまでの教育活動に御理解・御協力くださりまして、大変ありがとうございます。子どもたちの成長につながるよう、第1学期の残り授業日も力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、授業づくり・授業改善に向けた校内研修（現職教育）では、「互いに認め合い、学び合いながら、協働して解決する子どもの育成」を目指しています。その達成のために、①話し合い等の交流の場をさらに工夫して、子どもが主役の授業実践を重ねるとともに、②観点を明確にした振り返りや評価（適用）問題を工夫することで、「まとめ」と「振り返り」の充実を図っています。さらに、授業をはじめ、教育活動全体の中で“キャリア教育の視点”をより意識的に取り入れ指導を重ねていきます。

●本号では、「福島県キャリア教育推進事業 モデル実践校指定」「キャリア教育全体計画」について、お知らせいたします。なお、日々の教育活動はホームページ（南相馬市ポータルサイト）に掲載中です。

福島県キャリア教育推進事業 モデル実践校指定について

●令和3年度「学校だより No.1 4（令和4年3月23日付）」記載のとおりですが、福島県教育委員会（県教育庁義務教育課、県教育庁相双教育事務所）よりモデル実践校としての指定（令和4年度より2年間）を受けました。「学習指導要領の趣旨並びに児童・学校・家庭及び地域の実態を踏まえ、子どもたちが将来の夢と現在の学びを結び付け、キャリア形成及び自己実現を図ることができるよう、特別活動を要とした実践研究を行い、その成果を普及することにより、福島県におけるキャリア教育の一層の充実を図る」ことを趣旨とする事業です。

本事業を契機として、これまでのキャリア教育をより一層意図的・計画的に、各教育活動をつなぎ合わせながら取り組んでいこうと歩みを進めています。まずは「キャリア発達に関するアンケート調査」を実施し、集計及び結果分析を行って実態を把握（4月）したところです。次に、見えてきた子どもたちの「強み」「弱み」から、「目指す姿」「身に付けさせたい力」を設定し、キャリア教育全体計画の中に位置付けました。ご家族の皆様には、裏面の各項目に目を通していただきますと、概要を捉えやすいかと思えます。特に、キャリア教育の視点とされているのが、「基礎的・汎用的能力（※）」の具現化・重点化です。これは4項目で示され、まさにこれからの社会を生きる（生き抜く）ために必要不可欠な能力であるとされています。その意味でもキャリア教育は、授業をはじめ、全ての教育活動の根幹をなすものと言えます。

※A：人間関係・社会形成能力 B：自己理解・自己管理能力 C：課題対応能力 D：キャリアプランニング能力

今後はさらなる教育実践を重ねるとともに、工夫・改善を加えながら「大甕小学校キャリア教育」のスタイルを構築・推進していきたいと考えています。そして、効果的な推進のためには、家庭や地域の連携・協働が重要であると捉えていますので、適宜、情報提供・情報共有を進めていきます。また、「キャリアパスポート（自身の将来につなぐ履歴・経歴的なもので中学校に引き継ぐ）」の活用に当たっては、学期ごとに「保護者の皆様からの励ましの言葉」を御記入いただきたいと思います。御理解・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。